

教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成25年8月26日(月)午後2時30分～午後4時30分
- 2 場 所 伊東市役所 5階中会議室(東)
- 3 出席者 1番 杉田 純子君 2番 佐藤 潤一君
 3番 上村 昌延君 4番 田中 智海君
 5番 内山 義夫君
- 4 参 与 次長兼教育総務課長 萩原 博
 教育指導課長 小田 靖久 幼児教育課長 泉 將好
 生涯学習課長 堀井 裕三
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 山下 匡弘
- 6 会議の経過

委員長：ただ今から、伊東市教育委員会8月定例会を開会します。それでは、はじめに教育長の報告をお願いします。

内山教育長：「伊東市教育委員会8月定例会教育長報告事項資料」に基づき次の事項について報告を行う。

- 7月23日 成人式部内打合せ、伊東市記者クラブ情報交換会
- 25日 就学援助審査会、文化財保護監視員会、学校保健会総会
- 29日 社会を明るくする運動啓発事業
- 30日 島田市体育施設視察
- 31日 中堅教員研修会、ふるさと教室キャンプ(～1日)
- 8月 1日 世界の名画を描こう(～2日)
- 2日 研修主任研修会、「なぎさ」引っ越し(7日も実施)
- 3日 オール伊豆少年野球大会、ワイズメンズクラブキャンプ
- 5日 アンデパンダン美術展、保幼小連携研修会

7日 ライオンズクエスト（～8日）、善行賞打合せ

8日 小学生の船事前研修、ミュージカル、文化協会「夏の夕べ」

10日 伊東市表彰式、按針祭式典、歓迎レセプション、花火大会

11日 掃海艇入港セレモニー

12日 生徒指導協議会

16日 保育園研修会

19日 小学生の船（～21日）：大島

22日 市長保育園・幼稚園視察、8月28日付け人事異動内示

24日 小学生の船事後研修、ピッチャーズスクール（～25日）

26日 「世界の名画を描こう」表彰式

2 その他

(1) 寄附 伊東国際交流協会 水口進吾氏より市内小中学校へ

図書「青い目のサムライ」 40冊

(2) 寄附 伊豆木材市場会長 井川進氏より市内幼稚園・保育園へ

積み木 1万個

ふるさと教室のキャンプは学校とは違い、子どもたちが失敗してもそれを挽回できる時間を与えられていることがこのキャンプの良い点の一つである。

世界の名画を描こうは池田20世紀美術館で開催された事業で、展示作品を子どもたちに描かせてくれる。ヨーロッパでは一般的だが、日本の美術館では展示品を模写したり撮影することは一般的でない。子どもたちは大変上手に描いていて、中には自分でアレンジを加えて作品を仕上げる子どももあり、大変いい企画だと感じた。

ワイズメンズクラブのキャンプはふるさと教室のキャンプとは異なり、東京都にあるワイルドスポーツという団体が指導する。小学3、4年生が対象で参加者は170人ということだ。

小学生の船が大島で2日間にわたって開催され、自分も同行した。49人の小学5・6年生が参加し、最初は緊張と不安の面持ちが見て取れたが時々刻々成長し、さらに学校では見せない面も垣間見え、社会教育と学校教育の両方が機能して子どもたちは育っていくのだと感じた。

その他には、島田市の体育館を視察し、伊東市が体育館を建築する際の情報を学んできた。適応指導教室「なぎさ」の引っ越しを行い、旧広野分遣所の建物に入居した。また、市長、教育部長及び幼児教育課長とともに保育園・幼稚園訪問を行った。同日学校所属の市職員の人事異動内示を行った。

委員長：ありがとうございました。ただいまの教育長報告について何か意見、質問はございますか。

委員：ワイズメンズクラブのキャンプの募集方法は。

内山教育長：学校で募集プリントを配布している。

委員長：夏休みを利用して各種研修が行われたようだが、お知らせすることはあるか。

小田教育指導課長：保幼少の連携プログラムをもとに各学区でどのくらい進んでいるか検証し、併せてつきたい力の共有をしている。また、LINEについての研修を行ったが、後で報告する。

委員長：それでは議決事項に入ります。教議第5号「平成26年度重点化事業及び新規事業について」説明をお願いします。

(萩原次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

委員長：ただいまの教育総務課長からの説明につきまして意見、質問はありますか。

委員：子どもたちが行うトイレ清掃の頻度はどのくらいか。

萩原次長兼教育総務課長：学校の裁量に任せているが最低でも週1回以上は行うこととしている。

委員：子どもたちに対してトイレ清掃の意義を繰り返し説明することでトイレ清掃を浸透させていってほしい。トイレ清掃の意義についてはトイレ清掃の会も活用してはどうか。

萩原次長兼教育総務課長：教育指導課や校長会とも協議をしながら活用を図っていきたい。

委員：宇佐美中学校の給食実施の前倒しは非常に素晴らしいことだが、ほかの学校への展開スケジュールはどうなっているのか。

萩原次長兼教育総務課長：市長は公約として現任期中の完全実施を掲げていることから、給食センターの建設も含めて中学校給食の実現を図ってまいりたい。

委員長：では次に教育指導課長から説明をお願いします。

(小田教育指導課長から資料に沿って説明)

委員長：ただいまの教育指導課長からの説明につきまして意見、質問はありますか。

委員長：県補助10分の10のいじめ・不登校未然防止対策事業の県補助が付かなかつた場合事業は実施できるのか。

小田教育指導課長：市費で60万円予算要求しており、スクールソーシャルワーカーや心理判定士の費用として使用しているので来年度も補助がな

くても事業を実施できる。

委員長：学校司書は全校に配置されているのか。

小田教育指導課長：司書の免許を持った「司書教諭」は全校に存在するが、担任を持っているので、図書室の整理整頓、貸出及び相談業務はできていないのが現実である。司書業務に明るい方が各校週1回でも図書館に常駐してくれれば、子どもたちの本への興味を喚起することができるのではないか。現在、西小学校に1人だけ司書がいるが、各中学校区に1人ずつ配置できれば各校週1、2回ずつ常駐し図書室の充実を図れるのではないかと考えている。

委員長：ある学校で司書を配置したところ、教室に行けない子どもが図書室に来るようになり、無事卒業を迎えることができたという事例があった。とても教員が片手間でできるような仕事ではないので、ぜひ実現してほしい。

委員：司書の配置は必要に感じる。しかし費用の面からみると常設ではなく1人で複数校を担当し、かつ具体的なテーマを設定し明らかにして指導するようにしてもらいたい。

内山教育長：スクールソーシャルワーカーや心理判定士は教育指導課に配置できるのが最も良い。第3者として就学指導を行うことで保護者の指導に対する納得度が違う。

委員長：その他何かございますか。

(意見・質問なし)

委員長：では次に幼児教育課長から説明をお願いします。

(泉幼児教育課長から資料に沿って説明)

委員：熱中症対策という意味では、どの園も同じ条件だが全園でなく3園に

限り実施するのはなぜか。

泉幼児教育課長：既に職員室と遊戯室にエアコンが導入されている園が存在し、導入していない園については、計画的な設置として3園にまず導入することとした。

委員：熱中症については繰り返し報道されている中で、すべての園に導入しないのはいかななものか。予算によるものということは重々承知しているが、極めて重要な案件と考えるので優先順位を最も高くして対応をお願いしたい。

泉幼児教育課長：保育園については8月も運営しているためエアコンの導入は進んでいるが、夏休みのある幼稚園については導入が進んでいない。

委員：7月や9月にも暑い日はある。早急に進めてもらいたい。

泉幼児教育課長：上村委員のおっしゃるとおりである。今、幼稚園で一番困っているのは園児の弁当で、エアコンのある職員室に集めて食中毒の発生を抑えている状況がある。

委員：遊具更新設置事業について、全国で事故の発生をよく耳にするが、発生すると行政の責任が問われることが多くあるので、なるべく早く点検を実施し事故を未然に防いでほしい。また、家庭でブラインドのひもで首を吊り窒息する事故があった。ブラインドのある園があるようなら注意喚起してもらいたい。

委員長：つくし保育園の今後については。

泉幼児教育課長：現在の宇佐美の施設から吉田に移転する。認可保育園として平成27年4月の開園を目指している。職員もそのまま雇用を予定し、園児数の増加に伴い保育士も増員する。

委員長：では最後に生涯学習課長から説明をお願いします。

(堀井生涯学習課長から資料に沿って説明)

委員長：卓球台を新規に購入することに伴い、古い卓球台はどうするのか。

堀井生涯学習課長：廃棄するが、欲しい団体があれば対応する。

委員長：その他何かございますか。

(意見・質問なし)

委員長：それではこの件についてお諮りします。教議第5号「平成26年度重点化事業及び新規事業について」は原案どおり承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

委員長：委員の皆様から承認が得られましたので、教議第5号については原案どおり承認されました。

委員長：続きまして報告事項に移ります。教報第7号「伊東市民間保育所待機児童解消特別対策事業補助金交付要綱について」報告いたします。

(泉幼児教育課長から資料に沿って説明)

委員長：ただいまの説明につきまして意見、質問はありますか。

委員長：該当する園はあるのか。

泉幼児教育課長：民間の保育園が4園あり、そのすべてが該当する。

(意見・質問なし)

委員長：最後にその他にまいります。「平成26年度伊東市教育機関職員採用試験の受け付け状況について」説明をお願いします。

(萩原次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

(意見・質問なし)

委員長：次に「小学校職員（市職員）の異動について」説明をお願いします。

(萩原次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

(意見・質問なし)

委員長：次に「市議会9月定例会補正予算の報告について」説明をお願いします。
ます。

(萩原次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

(意見・質問なし)

委員長：最後に「各課からの報告」に移ります。説明をお願いします。

萩原次長兼教育総務課長：教育総務課の報告をする。4件報告を行う。まず、伊東市特別職報酬等審議会からの答申を踏まえ、所管する特別職の報酬の見直しを行うよう行政経営課から依頼があったが、教育委員は定例会における活動だけでなく、学校訪問や地域との交流、研修会への出席等、日々活動に努めていることから、他市の教育委員の報酬等も参考にする中で検討をしていきたい。

平成24年度伊東市教育委員会 自己点検・評価報告書は前年度の学識経験者の意見を踏まえ、教育部4課の課長補佐により検討を加えているところである。

川奈小で学校給食試食会を実施する。教育委員さんの出席をお願いしたい。

10月に任期満了となる田中委員の後任の人選を行っている。

小田教育指導課長：7月の子ども達の問題行動等については、昨年度比で小学校中学校ともに減少したが、小学校で万引き、ネットトラブルが増加した。善悪のつかない低学年への指導とネットに関する指導を繰り返す必要がある。不登校及びいじめの発生傾向は横ばいである。スマートフォン、特にLINEトラブルの講習を行ったが、参加者からは「参考になったが自分たちが指導できることは何があるのだろう。」という

意見があった。

通級指導教室「なぎさ」の引っ越しが終了した。

中学生は9月1日に各地区の防災訓練に参加し、9月2日が代休となる。

委員：ネットトラブルに関する指導は教室単位できめ細かく指導してほしい。

小田教育指導課長：問題を把握すると同時に指導を繰り返し行っていく。

泉幼児教育課長：福祉文教委員会協議会で、伊東幼稚園と湯川分園統合の報告を行った。市長が幼稚園及び保育園の視察を行ったところ、園から様々な要望が寄せられ対応方法を検討している。

待機児対策について、伊東市長と熱海健康福祉センター所長が協議を行い、つくし保育園の新設について意見交換した。

平成26年度の幼稚園及び保育園の園児募集が今後行われる。

委員長：統合後における湯川分園の跡地利用はどう考えているか。

泉幼児教育課長：今後、地域の方たちと協議する中で決定していきたい。

堀井生涯学習課長：小学生の船を実施した。事前研修及び事後研修に参加した社会教育委員は、プログラムの前後で子どもたちが劇的に変化することについて驚きの意見があった。

今後のスケジュールとしては、私の主張、善行賞、成人式、オレンジビーチマラソン及び伊東駅伝を予定している。

委員：子どもが昔小学生の船に参加し、今でもその時のメンバーと交流が続いている。今後も継続してほしい。

委員長：今後の日程について確認します。

9月の定例会については9月27日（金）午後2時30分から

10月の定例会については10月25日（金）午前9時に市役所集合
し私立幼稚園訪問、午後1時30分から定例会

委員長：ご苦労さまでした。以上で伊東市教委員会8月定例会を終了し
ます。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

委員長 杉 田 純 子

委 員 佐 藤 潤 一

書 記 山 下 匡 弘